



平成28年(2016年)

手術支援ロボット da Vinci Xiを導入

～負担が少なく、より安全な手術を推進～

最新手術ロボ導入
福井赤十字病院、来年1月運用へ
内視鏡 前立腺がん対象

福井赤十字病院（福井市）は、内視鏡（ダビンチ）手術の支援ロボット「da Vinci Xi」を導入し、来年1月より運用を開始する。このロボットは、従来のロボットに比べて、手術の負担が少なく、より安全な手術が可能になる。また、手術の精度が向上し、手術後の回復も早く、入院期間が短縮されることで、早期の社会復帰が可能である。

福井赤十字病院は、がん治療の先進医療として、ロボット支援手術を導入している。この手術は、医師が遠隔操作で、患者の体内に手術器具を送り込むことで、手術を行う。この手術は、従来の手術に比べて、手術の負担が少なく、より安全な手術が可能になる。また、手術の精度が向上し、手術後の回復も早く、入院期間が短縮されることで、早期の社会復帰が可能である。

ロボ支援で胃がん手術
福井赤十字病院 保険適用広がり県内初

内視鏡手術は、体に小さな切口で手術を行う。従来の手術に比べて、手術の負担が少なく、より安全な手術が可能になる。また、手術の精度が向上し、手術後の回復も早く、入院期間が短縮されることで、早期の社会復帰が可能である。

福井赤十字病院は、がん治療の先進医療として、ロボット支援手術を導入している。この手術は、医師が遠隔操作で、患者の体内に手術器具を送り込むことで、手術を行う。この手術は、従来の手術に比べて、手術の負担が少なく、より安全な手術が可能になる。また、手術の精度が向上し、手術後の回復も早く、入院期間が短縮されることで、早期の社会復帰が可能である。

肺がん手術に支援ロボ
福井赤十字病院ダビンチ保険診療開始

福井赤十字病院（福井市）は、肺がん手術の支援ロボット「da Vinci Xi」を導入し、保険診療を開始する。このロボットは、従来のロボットに比べて、手術の負担が少なく、より安全な手術が可能になる。また、手術の精度が向上し、手術後の回復も早く、入院期間が短縮されることで、早期の社会復帰が可能である。

福井赤十字病院は、がん治療の先進医療として、ロボット支援手術を導入している。この手術は、医師が遠隔操作で、患者の体内に手術器具を送り込むことで、手術を行う。この手術は、従来の手術に比べて、手術の負担が少なく、より安全な手術が可能になる。また、手術の精度が向上し、手術後の回復も早く、入院期間が短縮されることで、早期の社会復帰が可能である。

手術支援ロボットでは出血量が少なく、合併症のリスクが低減
手術後の回復も早く、入院期間が短縮されることで、早期の社会復帰が可能です



▲医師は座った姿勢で手術を行う



▲手術支援ロボット「da Vinci Xi」

平成27年(2015)10月、手術支援ロボット「da Vinci Xi(ダビンチ)」を導入し、翌年2月から運用を開始しました。前立腺、腎臓、膀胱の腎臓・泌尿器分野だけでなく消化器外科領域においても導入を進め、平成30年(2018)年7月、福井県初の胃がん手術を施行。同年10月には、福井県一例目の直腸がんに対するロボット支援下手術を行いました。さらに、令和6年(2024)7月から肺がんへのロボット支援下手術を行うなど、呼吸器外科領域にも導入を広げています。



- 平成28年の出来事**
- ・熊本地震が発生
 - ・天皇陛下が生前退位の意向を表明
 - ・藤井聡太が14歳で四段に昇進し史上最年少の将棋プロ棋士に
 - ・リオデジャネイロ五輪が開催される